

常総市  
のじょうそう  
市議会議だより

主な記事

- 一般質問(5月定例会議)……………(2)~(11)
- 5月定例会議の審議案件と結果……………(12)
- 審議された主な議案……………(13)
- 水害検証特別委員会報告書……………(13)
- 8月定例会議日程……………(14)

- 責任者 常総市議会議長 風野芳之
- 編集 議会だより編集委員会
- 発行 常総市議会

214号

2016.8.18  
発行

大塚戸子供みこし祭





# 一般質問

## 5月定例会議

5/31(6/3)の4日間にわたり18人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。  
※原則として平成の元号は省略してごまね。

<p><b>堀越 輝子</b> HORIKOSHI TERUKO</p>  <p>P.4</p> <p>●農業委員会について 農業委員の選出方法が任命制に変わった。今後地域の農業をリードする担い手はどうなっていくのか？</p>	<p><b>中村 博美</b> NAKAMURA HIROMI</p>  <p>P.4</p> <p>●豪雨災害について 上三坂の家が流失してしまった方々、全壊により建てかえをせざるを得ない方々に心から温かい支援をお願いしたい。</p>	<p><b>倉持 守</b> KURAMOCHI MAMORU</p>  <p>P.3</p> <p>●常総市が創設した、いきいき子育て住宅補助金と地方創生の関連性について問う この補助金は市全体の土地を対象にすべきだ!!</p>	<p><b>寺田 洋</b> TERADA HIROSHI</p>  <p>P.3</p> <p>●中越大地震及び刈谷田川の 水害について 災害はいつ起こるかかわらない。他市の事例を参考にして、災害に備えるべきだ!!</p>
<p><b>堀越 道男</b> HORIKOSHI MICHIO</p>  <p>P.6</p> <p>●地域医療機関の貢献と水害被害からの再建について 地域医療を支える市内の開業医。水害被害から立ち直るには、特別な支援が必要だ。</p>	<p><b>石川 栄子</b> ISHIKAWA EIKO</p>  <p>P.6</p> <p>●災害関連死について 水害に関連して亡くなられた方のご家族には、その気持ちに寄り添って、親切的な対応をお願いしたい。</p>	<p><b>大澤 清</b> OSAWA KIYOSHI</p>  <p>P.5</p> <p>●情報発信について 災害時の新たな情報伝達ツール「防災対応型エリア放送」は、行政防災無線の弱点をカバーできる。ぜひ導入の検討を!!</p>	<p><b>岡野 一男</b> OKANO KAZUO</p>  <p>P.5</p> <p>●市民の広場について 市民の広場に人を集めるのであれば、トイレや休憩施設が必要ではないか。もっとたくさんの人に利用してもらいたい。</p>
<p><b>遠藤 章江</b> ENDO FUMIE</p>  <p>P.8</p> <p>●常総市圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業とアグリサイエンスバレー構想について 計画を練り直すべきだ!!</p>	<p><b>水野 昇</b> MIZUNO NOBORU</p>  <p>P.8</p> <p>●アグリサイエンスバレー構想について 二転三転しているこの構想。ハードルが高い。やるなら同意を得てからやってもらいたい。</p>	<p><b>新田 宏安</b> NITTA HIROYASU</p>  <p>P.7</p> <p>●公共事業と地元業者の育成について 若い人が安心して、手に職をつけて暮らせるような常総市をめざしてもらいたい。</p>	<p><b>中島 亨一</b> NAKAJIMA RYOICHI</p>  <p>P.7</p> <p>●産業振興公社の創設について インターチェンジ周辺開発にあわせて、産業振興公社を立ち上げてはどうか？</p>
<p><b>茂田 信三</b> SHIGETA SHINZO</p>  <p>P.10</p> <p>●江連用水(浸水対策下水道)の早期完成について 住民は完成まで50年も60年も待ってられない。早期完成を強く訴えてもらいたい。</p>	<p><b>中村 安雄</b> NAKAMURA YASUO</p>  <p>P.10</p> <p>●市長選での誹謗中傷等の対立による市政の停滞と反省・改善について 今度の市長選はクリーンな選挙戦でなくてはならない。</p>	<p><b>遠藤 正信</b> ENDO MASANOBU</p>  <p>P.9</p> <p>●防災の日の制定について 豪雨水害を教訓として、防災意識の向上と市民生活の安全確保を目的として常総市防災の日を定めてもらいたい。</p>	<p><b>小林 剛</b> KOBAYASHI TAKESHI</p>  <p>P.9</p> <p>●大規模災害について 災害時にどのような行動をとるべきか、条例で明確化しておく必要がある。災害対策基本条例の制定を望む。</p>
<p><b>金子 晃久</b> KANEKO TERUHISA</p>  <p>P.11</p> <p>●災害時のり災証明発行について 非常に件数の多いり災証明の発行は困難を極める。全国的・統一的なシステムが必要だ!!</p>	<p><b>関 優嗣</b> SEKI MASASHI</p>  <p>P.11</p> <p>●自主防災組織について 市内の自主防災組織が災害時には1つの大きなまとまりとなって力を発揮できるような、災害に強いまちをめざせ!!</p>		

## 中越大震災ネットワーク おぢや



中越大震災及び刈谷田川の水害について



対して市が保険料の一部を負担しているが、常総市では負担する考えはあるか。

**市民生活部長**

小千谷市では自主防災組織連絡協議会に対して保険料を負担しているが、当市ではおのおの自主防災組織で賠償責任保険の対応をさせていただいている。負担については今後検討していきたい。

**議員**

災害時における自治体の災害対応の教訓の共有化と災害発生時の市町村職員の災害対応業務のための情報提供、経験職員の派遣調整等を目的として17年10月に「中越大震災ネットワークおぢや」が設立され、現在全国76自治体が加入している。被災地の支援活動や平常時には研修会なども開いているとのことだが、常総市はこれに加入しているか。

**市民生活部長**

現在、当市は加入していない。今後ネットワークおぢやに限らず、加入して、昨年の当市の豪雨災害の経験を全国に発信というものも考えていきたい。

**議員**

ぜひ検討をお願いしたい。

**議員**

衛星携帯電話は設置費用も高く、通話料も高いが、ぜひ必要だと思ふ。なるべく早い時期に導入できることを望む。次に賠償責任保険の加入について問う。小千谷市では、自主防災組織に

寺田  
洋議員



## 地方創生に少子化対策を盛り込む

常総市が創設した、いきいき子育て住宅補助金と地方創生の関連性について問う

**議員**

常総市は22年にいきいき子育て住宅支援補助金(※)を創設した。非常にいい内容ではあるが、私は市の土地を売るための政策とも感じている。創設以来、どのくらいの利用者がいたか。

**保健福祉部長**

この事業は少子化対策事業の一環として、また市の遊休地売却促進を図ることを目的として開始し、約6年間で建築費補助は合計8件の利用がある。

**議員**

年間1件ちよつとの利用しかない。今まで改正について議論がなされたのか。

**企画部長**

具体的な対象要件の検討については、まだない。

**議員**

地方創生案を6月に提出するのにまだ検討とは…。補助金の内容変更を検討したらいかがかと思う。市の所有する土地だけを販売するためこういう手法はいかがなものか。市民の公平性、平等性に欠けると私は思っ

**市長**

今我々が取り組んでいる地方創生は、広い視野に立つて3世代同居世帯をふやす、あるいは若者世代の居住をふやすということだから、私は市の遊休地に限定する必要はないと思う。3世代同居世帯、若い世代に積極的に支援の輪を広げるべきだという視点に立つて、内容を盛り込んでいきたいと考えている。

**議員**

地方創生案に盛り込まないと、常総市の少子化対策、子育て支援にはつながらない。ぜひ盛り込むように要望する。

**※補助対象要件**

- ① 市所有の分譲宅地を購入し、3年以内に住宅を建築し、自ら居住すること。
- ② 建築費補助金又は固定資産税補助金の申請のうちいずれか最初の申請日現在に45歳以下で、配偶者と同居又は小学生以下の子とも同居・養育していること。
- ③ 建築した住宅に転入又は転居の届出をすること。
- ④ 市税、国民健康保険税その他市の使用料等を滞納していないこと。

倉持  
守議員





豪雨災害について

### 復興元年！元気に生きよう！宣言都市

議員

第3次義援金配分について、市長の考えを尋ねる。

市長

流失した8軒を中心に、手厚い加算をしてほしいと義援金配分検討委員会に指示をしている。

議員

全壊建てかえ世帯への支援はあるか。

市長

流失世帯、プラス全壊世帯の中でも解体して新しく家を建て、もう一度常総市に住んでいただける方について、何とか義援金の中から加算部分が支援できないか検討を進めている。

議員

流失特別世帯の人と全壊建てかえ世帯の人に手厚い支援をしてもらいたい。流失特別世帯への支援はあるか。

市長

流失世帯に加算することは当然だと思うが、全壊世帯やほかの世帯とのバランスも考えなければならぬ。

議員

上三坂に避難指示を出し忘れたミスについて、5月22日市長は謝罪したが、それに対して上三坂の方には何もできないのか。

市長

謝罪はしたが、例えば避難指示勧告が上三坂に漏れてしまったことをお金で賠償するという方法はとらない。

議員

補償は義援金での上積みで、金額で示してもらいたい。義援金配分検討委員会のメンバーの皆さん、本当によくお願いします。私は上三坂の皆さんの家が建って、上三坂に戻られたとき、復興元年としたいと思う。そして、そのときの市長に「復興元年！元気に生きよう！宣言都市」を提案したいと思う。



□ 殿 園 圃 JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI □ 殿 園 圃

### 農業に新しい風を吹き込む



農業委員会について



ればならないものとされており、若い方、女性の登用も積極的にやっていくことになる。

議員

任命制にするこのメリットは。

農業委員会事務局長

メリットとしては、透明なプロセスを経て農業委員が推薦されること。特に農業委員の過半数が認定事業者でなくてはならないことだと思う。

議員

現在の当市の女性委員の数、委員の平均年齢、一番若い方の年代を伺う。

農業委員会事務局長

女性委員は26名中2名、平均年齢は63・7歳、一番若い方は30代である。

議員

なるべく女性、若い人が積極的に任命されるよう取り組んでいただけるようお願いしたい。女性委員をふやし、多様な意見を反映させていくことに関して市長はどのように考えているか。

市長

私は積極的に女性、そして若い人を登用していきたいと思っている。また、市民農園・体験農業という形で女性の参加も大変重要だと考えている。



## 市民の広場の 充実を求める!!



市民の広場について



ない。

**市長**

水海道公民館を建てかえる際、には旧カスミ跡地に建てかえる、そして市民の広場と一体でにぎわいを取り戻せるような構想を考えている。

**議員**

市民の広場にトイレや休憩施設をつくる予定はあるか。

**市長**

今の市民の広場の中に何かをつくる考えは全くない。

**議員**

市民の広場の西側にきれいな道路があるが、市道ではないとのこと。既に道路としての機能を果たし、市民の利便に供している。市道として供用開始したほうがよいのではないか。

**都市建設部長**

市道に認定した場合、国道354号に対し、交通規制がかかる可能性がある等の理由で通路のまま整備をしたと聞いている。

**議員**

きちんと道路として整備してもらいたい。市民の広場については中途半端な施設で終わってほしくない。利用者の声を聞きながら、効率的な利用を推進していつてもらいたい。

**議員**

延べ利用日数は、25年度42日、26年度29日、昨年度は水害の影響もあり22日であった。

この利用日数は少ないと思う。何か足りないからではないか。まちの活性化にはつながっていない。

岡野

一男議員



## ここまでできる!! 防災対応型エリア放送

情報発信について

**議員**

行方市は、関東地方の自治体初の試みで、防災対応型エリア放送に取り組んでいる。このエリア放送は、ご家庭のテレビやスマートフォン等で緊急災害情報、鉄道や高速バスの時刻表、道路状況、市役所からのお知らせ、行事予定、ごみ出しの情報、運動会、議会中継等も見ることができ、常総市独自の情報伝達が可能である。夜間や悪天候時、停電時等に対応でき、防災行政無線の弱点をカバーできるものと考えられる。緊急時には強制的に家庭のテレビをつけることも可能である。公衆WiFiスポットを整備することで、災害時に携帯電話等が使用できなくなった場合でも情報伝達が可能となり、特に避難所や公共施設に有効かと思う。メリットとしては、無料で視聴可能、データ放送対応、視覚・聴覚での情報伝達が可能、そして情報コミュニケーションツールとして非常に拡張性が高いということが挙げられる。また、光回線を利用するこ

とにより、情報伝達だけではなく、例えば市民アンケート等、いわゆる双方向での対応が可能となる。さらには市外への情報発信として、常総市で番組を制作して放送するのも有効と思われる。コスト面では、防災ラジオを全戸配布するよりも安価であると聞いている。防災に対応した情報発信の一つのツールとして、ぜひ検討すべきと思っている。

**市長**

防災行政無線だけではなく複数の災害情報伝達機能を持つ必要はあるかと思っている。エリア放送は非常に注目すべきものがあり、真剣に検討していきたい。ぜひとも実現させていただければと思う。

**議員**

エリア放送



防災行政無線

大澤 清議員



災害関連死について

認定をできるだけ早く!!

石川 栄子 議員

議員

水害後、常総市の地域において脳卒中で入院した患者が約4倍にふえたそうである(※)。精神的ストレスも大きく働き、災害関連死に至ってしまうことも十分考えられる。災害関連死の認定方法、申請等について伺う。

保健福祉部長

災害関連死は、明確な基準はなく、市町村が独自の判断で行うことが原則である。市町村独自の審査会を設け、判定を行う。当市でも、審査会設置に向けて準備を進めている。現在8名の遺族から申請があり、今後審査会にかけ、判定をしていただき、その結果を受けて市長が認定・不認定を下すことになる。なお、認定を受けた場合、災害弔慰金として、亡くなられた方が生計維持者の場合は500万円、その他のの方の場合には250万円を支給することになる。

議員

身近な人を亡くしてしまった悲しみ、「水害がなければ」という怒りも加わって、家族の方

も大変な苦労を強いられている。どうぞその気持ちに寄り添うように、温かい結果が出るようにお願いしたい。申請したご家族の方は、審査会でどんなことが話し合われたか知りたいということだが、傍聴はできるか。

社会福祉課長

できれば非公開で行いたい。

議員

議事録は見る事ができるか。また、具体的な審議結果を含めて認定・不認定の通知を出していただければありがたい。親切な対応が必要だと思う。

社会福祉課長

会議録は公表できる内容かを確認して行いたい。仮に不認定の場合は、不認定の理由を述べて通知することになる。

※筑波メディカルセンター病院などの研究チームは、常総市地域を調査した結果、堤防決壊直後からの4週間で脳卒中が原因で入院した患者が11人いたことがわかった。前年の同時期と比べ約4倍にのぼる。しかし、決壊してから1カ月後には、数人程度に戻ったという。被災直後の精神的なストレスが脳卒中を引き起こす可能性があることを示す結果である。

□ 殿 園 園 JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI □ 殿 園 園



地域医療を守る

地域医療機関の貢献と水害被害からの再建について



堀越 道男 議員

厚生省の災害補助金の制度はあるが、支援を受けるには基準が厳しく、なかなか借りられない。今回病院一般に対しての支援はあったか。

保健福祉部長

被災中小企業継続支援補助金制度を創設し、50万円の補助金交付及び一部無利子による融資事業を実施した。

議員

50万円では、とても機械をそろえることはできない。これでは地域医療が崩壊していくのではないか。県は被災企業への支援基金をつくったが、病院にも広げることが必要ではないか。

産業労働部長

県が300億円の基金をつくり、その運用益を補助に充てるものだが、個人開業医も該当となる。今年度の県の事業費は950万円程度である。

議員

運用益だけ出すというのは、今の低金利の時代に合わない。被災者の側に立った支援が必要である。

市長

すべての医療機関に対する支援を国に強く要望している。

これまで常総市内の開業医の役割とその評価について伺う。

身近なかかりつけ医として、地域医療の中心であり、市民の生命と生活を守る上でも必要不可欠な医療機関である。

この近くの医院は、親子2代にわたって地域医療に大きく貢献されてきたが、今回の水害で大変な被害を受けた。多くの患者さんの熱意に打たれて医院を再開したが、機械を備え、やっていくにはとてもお金がかかる。



## 常総市の明日の 新しい産業を創造する



産業振興公社の創設について



り出すのに公社が手を貸していただく。また、新しい技術を起こしたいというときに、公社の中に相談窓口があって、一緒にやってくれるスタッフがいれば、常総市の新しい地方創生の一つにもなる。

インターチェンジ周辺開発にあわせて、農業だけではなく、すべての産業における新しい産業の開発、そしていろいろな形で常総市の人たちを応援していくという意味で、産業振興公社を立ち上げてはどうか。

### 産業労働部長

産業振興公社の創設を通じて支援を行うことは、当市の産業を振興する上で意義があると考えている。日立市の産業支援センターなど他の事例を参考にしながら前向きに検討していきたい。

### 議員

公社が企業と企業、人と企業を結び付けていく、そして新しい方向性をつくっていくことは大切なことである。皆さんがやるんだという意識を表に出さないと、常総市の新しい地方創生というのにはあり得ない。常総市は大変な災害に遭ったが、その中から新しいものを創造していただくという思いでやっていきたい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



公共事業と地元業者の育成について

## 職人を応援します

### 議員

地元の小規模業者にとって、やはり公共事業というのは魅力があるようだが、地域に根ざしてやっていても、なかなか参入させてもらえないとのことである。

今、いろいろな職人が本当に不足している。大工になる人なんていないんだよという話も聞く。この前の災害のときも、大工がいらない、大工がいらないということ、かなり高額のリフォーム代がかかったという話を聞いた。地元でそういう必要な職人を育てるといったことについてどう考えているのか。

### 総務部長

小規模事業者の場合、初めて競争入札参加者名簿に登録する時点では公共工事の実績がないため、当初は軽微な補修工事等が対象となるが、その後、結果を重ねることによって500万円以下の指名競争入札に参加できることになる。入札における参加範囲及び指名基準については、地元業者を最優先に考えており、

軽微な補償工事などはこれまでも地元の小規模業者に発注するように心がけている。

### 議員

地元業者の育成は、公共事業とかそういうところで勉強してもらおうのが早いと思う。私の知り合いで土木をやっている人からは、「自分らは一切公共事業に参入する機会がないんだ。何とかならないのか。これじゃあ俺の代で終わりだ。」と言われている。これでいいのかということ、これを真剣に考えてもらいたい。何らかの方策はあると思う。そういうことができなかったら、地方創生なんて言ったって話にならない。若い人が安心して手に職をつけて暮らせるような常総市をつくってもらいたい。



中島 高一 議員

新田 宏安 議員



そんな簡単にできるものじゃない！

アグリサイエンスバレー構想について

議員

①アグリサイエンスバレー構想の現在の進捗状況、②28年度アグリサイエンスバレー構想の土地測量費、③今後の見通し、以上について尋ねる。

都市建設部長

①事業街区をACDで進めることについて地権者のご意見を伺った結果、103名のうち99名の事業推進の賛同を得られたものと理解している。②測量費用は国交省の積算基準に沿った公共測量の費用となっている。③今年中に土地交換の合意形成を図る予定である。来年度の都市計画決定と土地区画整理事業の許可を得ることを目標に進めていきたい。

議員

この構想案は二転三転して、地権者は理解できるわけがない。中には、道の駅をつくるんだとか言っている人がいるようだ。

産業拠点整備課理事

道の駅についても、まだ最終的に決まっているものではない。

議員

6次産業は簡単なものではない。ほかは国から予算をもらってやっている。市の財源や戸田建設だけでやっているわけではない。20ヘクタールの都市計画区域に何を持って来るのか。今の減速した経済情勢の中では簡単ではない。測量についても地権者の同意を得てからやるのが基本である。手順を間違ったら大変である。

市長

これから1軒1軒、地権者の民地に入っていく測量に入るが、そのときには個々の同意を得た中で測量をしていく。

議員

同意をもらってから予算を計上してやっていくというのが私の基本的な考えである。



圏央道 常総インターチェンジ周辺

議員

この事業の開発予定地62ヘクタールのうち白畑地区の地権者が計画から抜けてしまい、予定地は40ヘクタールになってしまった。都市的土地利用エリアの予定地はCD地区↓B地区↓A地区と二転三転しており、事業の実現可能性に疑問がある。

都市建設部長

白畑地区が抜けるということではなく、水田畑地のまま利用することである。

市長

地権者の意向を反映させてよい計画にしていくわけだから、何ら問題はないと思う。

議員

都合のいいときは40ヘクタールで物事を考え、アグリサイエンスバレー構想と言う。都合が悪くなると白畑の20ヘクタールも加えて62ヘクタールと考え、常総インターチェンジ開発と言う。こういうのは、やり方が汚いと思う。執行部は都合のいいように計画を変更している。戸田建設ですと言って違う会

二転三転するこの事業に大きな疑問!!

常総市圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業とアグリサイエンスバレー構想について

議員

社の人が地権者を回り歩いているそうだが、それは地権者をだますことにならないか。

産業拠点整備課長

その会社は、戸田建設の再委託先で、問題ないと考えている。

議員

HE社の名刺を持って歩いているYという人は、また別の会社の人であり、再委託先とは言えない。これはどういうことか。

産業拠点整備課長

HE社の社員と認識している。

議員

この事業は平成34年までかかる計画であり、そこまで市が予算計上した5億円に合うのか心配である。市民の大切な税金を一円も無駄にしてはいけない。この事業は一旦休止し、水害被害に遭った人たちの生活を元通りにすることに全力を尽くすべきではないか。常総市の農業全体を考えた特区申請をして、みんなに利益が上がるような政策が私の希望である。



## 災害対策基本条例を設置し、行政と市民の役割を明確に



大規模災害について



議員

災害時、市民には義務と責任は明確にはないが、避難所を確保するとか、これはやはり市民の責任であると思う。これを明確にするため、例えば震災対策計画等はあるが、もう少し強めの災害対策基本条例を設置してはどうか。

市民生活部長

市独自でそういうものを設けることも有意義なことかと思う。

議員

市民はこういうときにこうするんだという計画があっても、恐らく市民はそれをわかっていないと思う。だから、きちっと条例でそこを明確にして、自治体も市民もみんなで責任を持つ、義務も負う。そのために災害対策基本条例をぜひつくってもらいたい。また、防災士はちゃんと行政の指揮下に入れるとかして、しっかりと活躍してもらわないといけない。防災士の育成というところで補助を出すだけではなく、組織化までの手伝い程度は行政でやってあげたらいかか。今年度中に条例のほうは検討に入っていたideきたい。

市民生活部長

①災害発生直後は市などの公的支援がすぐに届かないため、まずは自分の命を守っていたらいい、その上で地域の方々が助け合っていたideきたい。②現在市内に防災士48名、地域防災協力員36名がいるが、昨年の水害時には市との連絡不足等で災害活動ができなかった。今後連絡を密にし、活動してideきたい。

市民生活部長

条例化についても早急にできるように検討したい。



## 忘れない9月10日、そして後世に伝える

防災の日の制定について

議員

昨年の9月10日、常総市は集中豪雨により被害を被った。そういう意味も兼ね、常総市として防災の日を条例で定めてはどうか。

市民生活部長

9月10日を常総市防災の日として定めることについて、今後前向きに検討してideきたい。

議員

何としても早急に防災の日を指定してideきたい。

市民生活部長

9月10日の後になるかとは思いますが、そんな遅くない時期に制定を考えてideきたいとは思っている。

議員

昭和61年豊田地区で小貝川堤防が決壊し、五箇・大生地区に水が到達した。また、昭和13年の大水害でも三妻・五箇・大生地区に甚大な被害を及ぼした。これらの災害の経験から学び、行政としての対策はどうなっていたか。

市民生活部長

今回の災害では、過去の水害の教訓を十分に生かすことはできなかった。今後、初動体制の見直しをはじめとする常総市地域防災計画の全面的な見直しを行い、避難訓練や防災訓練を実施するとともに、市民の防災意識の向上に努めてまいりたい。

議員

いろいろな形で後世に伝えていくことを私は考えている。

市長

昨年の大水害をしっかりと後世に伝える、また現在の子どもたちにもしっかりと教育していくことは非常に大事である。

議員

普段から意識を持って伝えていければ、大いなる減災につながっていくと思う。

9.10



小林剛議員

遠藤正信議員



中村 安雄 議員

これまでの流れをとめない  
市政の安定と継続

市長選での誹謗中傷等の対立による市政の停滞と  
反省・改善について

議員

4年前の市長選は、負けてはならないということで、あまりにもないものまで持ち出して選挙戦に臨んだということが幾つかあった。街頭演説でもチラシをまいて選挙をやるにしても、正しい理解ができるような内容で訴えいくことが大事だと思う。全くないことまでつくり上げて、選挙民を誘導するようなことは絶対に許すことはできない。

市長

今度の市長選挙においては、できるだけ公正な選挙をやりたいと思う。

議員

事業は計画から実行に移すまで時間がかかる。市長選で足の引つ張り合いをやっていたのでは先に進まない。今までずっと前市長がやっていることに対して非難を浴びせ、そしていや私はいはこうなんですよというやり方をしている。損害を受けるのは市民である。前回の選挙では、特に夕張市の話がひどかった。財政破綻した夕張市に近いのが

市長

議員の発言を重く受けとめて、今度の選挙は今までの反省も含めていい選挙をやりたい。



□ 設 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 設 問

## 完成まで何年かかる？



江連用水（浸水対策下水道）の早期完成について



整備箇所



未整備箇所

議員

例年大量の降雨時には、必ずと言っていいほど旧294号沿いは床下まで浸水し、昨年の9月10日豪雨でも甚大な被害をもたらした。この件について私は石下町議会のときから訴えてきた。江連用水の早期完成について問う。

都市建設部長

平成27年度は、七井新聞店から上流約30メートル、下流部は関東鉄道の軌道敷までの約60メートルを整備した。平成28年度は松葉公民館付近約60メートル

茂田 信二 議員

を整備する予定である。早期完成に向けた事業費の確保のためにも、国・県に強く要望していきたい。

議員

下流から工事をしていくというのが原則だが、上流の一部はきれいになっている。あのあたりは一番被害がひどいからか。総延長4125メートルで、毎年60メートルでは10年やっても600メートルだ。同じく税金を払っていて、あるところはすぐ直してもらえて、こっちは30年近く全然変化がない。30メートルやるから、わかりましたではなくて、何年計画でやるように言ってもらいたい。

下水道課長

ゆたかやだんご店の付近を先に整備した理由は、歩道の整備計画があり、費用対効果を考え同時に整備を実施したためである。また、整備が進まないのは、現在施工している場所は家並みがあり、特殊な工法を使っているためである。

議員

毎年梅雨に入って、大雨が降ると汚水で臭くてしかたない。早期完成を国・県に強く訴えてもらいたい。





## めざせ！ 防災日本一の常総市！！

自主防災組織について



**議員**  
現在、当市に設置されている自主防災組織の数、組織形態等を伺う。

**市民生活部長**

現在市内の自主防災組織は86ある。昨年の災害後に新たに結成はされていないが、結成に向けた相談は受けている。自主防災組織同士の連携については、各自治区単位での活動となっており、連携はとられていない。

**議員**

防災組織を立ち上げたいんだけど、どのように進めていいかわからないという声もある。市

のほうからも手助けをしてもらえればと思う。今回の災害では、東部地区が甚大な被害を受けたが、西部地区は災害を免れた部分もあり、積極的な活動ができる条件もあったのかなと思う。全く連携がないために、本来であれば動けたのに何をしていいかわからないというところもあったと思う。既に自主防災組織が設立されている内守谷地区からは、炊き出し等を行っていた。避難所に多くのおにぎり等を届けていただいた。自分たちの地域を守るための組織だが、全体を一つにまとめて、それが市として大きなまとまりとして、災害時にいろいろな形で力を発揮できるように組織にしていければと思う。また、防災組織であったり、消防団であったり、防災士の連携を密にして災害に強いまちをつくっていくことを提案していきたい。

**市長**

自主防災組織は現在86だが、すべての地域に自主防災組織をつくるのが目標である。これは自助、共助において大変大きな役割を果たすので、そこをまず我々としては目指していきたいと思っ



## り災証明書の迅速な発行を期す 災害時のり災証明発行について

**議員**

災害時、り災証明は公的援助を受けるときに必要となる大もとの資料で、被災住民の方にとって非常に重要なものである。また、いかに早く発行してもらえるか非常に気がかりな部分だと思

**総務部長**

現地調査の人員不足と証明書発行システムの未整備である。

**税務課長**

災害発生後、民間業者にシステムを開発してもらったが、システムに流し込むデータ作成に手間取ったり、突合がうまくできなかったため、発行が遅れてしまった。

**議員**

今現在システムは整備されているのか。

**税務課長**

現時点では、そのシステムしかないで、多少バージョンアップをし、我々の経験則でもってある程度カバーできるものと

**議員**

経験則に基づく業務の効率化は期待するところではあるが、例えば3年後、その人的経験が失われた場合を私は心配している。職員の経験則に基づくのではなく、全国的・統一的なシステム、ある程度共有化されたシステムで取り組めれば、発行もスムーズにいくのではないかと

**安全安心課長**

全国的なシステムということ、阪神・淡路大震災時に兵庫県西宮市がつくった被災者支援システム(※)というのがある。改良を加えて、総務省でこれを推奨している。当市においても現在このシステムの導入に向けて協議をしているところである。

### ※被災者支援システム

- 避難所関連システム
- 緊急物資管理システム
- 仮設住宅管理システム
- 犠牲者遺族管理システム
- 被災予測等・復旧復興関連システム
- 倒壊家屋管理システム
- 避難行動要支援者関連システム

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	議案名	関 優 嗣	大 澤 清	坂 野 茂 実	寺 田 洋	金 子 晃 久	堀 越 輝 子	遠 藤 章 江	小 林 剛	新 田 宏 安	倉 持 守	坂 卷 文 夫	中 村 博 美	岡 野 一 男	遠 藤 正 信	中 島 亨 一	茂 田 信 三	喜 見 山 明	石 川 栄 子	水 野 昇	中 村 安 雄	堀 越 道 男	風 野 芳 之	審議 結果	
議案第1号	常総市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	常総市行政不服審査法施行条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	可決	
議案第3号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	可決	
議案第4号	常総市議会議員及び常総市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第5号	常総市税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第6号	常総市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	可決	
議案第7号	道路の整備に関する平成28年度委託契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第8号	常総市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第9号	平成28年度常総市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	可決	
議案第10号	工事請負契約の締結について(小学校空調設備改修工事(水海道小、絹西小及び菅原小))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第11号	工事請負契約の締結について(小学校空調設備改修工事(大花羽小、三妻小、石下小及び玉小))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第12号	工事請負契約の締結について(小学校空調設備改修工事(五箇小、豊岡小、大生小及び菅生小))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第13号	工事請負契約の締結について(小学校空調設備改修工事(岡田小、豊田小及び飯沼小))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
推薦第1号	人権擁護委員の推薦について(関根則雄氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦	
推薦第2号	人権擁護委員の推薦について(野口次男氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦	
推薦第3号	人権擁護委員の推薦について(高野 守氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦	
陳情第1号	上花島東部二白山坪道路拡幅に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
陳情第2号	圏央道常総インターチェンジ周辺整備事業事業推進に関する陳情	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	棄	×	○	棄	採択		
報告第10号	関東・東北豪雨による水害検証特別委員会報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	

※議長は採決に加わらない

《会議の欠席等の状況》

- 5/25 本会議 喜見山明(欠席)
- 5/31 本会議 喜見山明(早退)・茂田信三(早退)
- 6/1 本会議 金子晃久(早退)・茂田信三(早退)・遠藤章江(離席)・遠藤正信(離席)
- 6/3 本会議 喜見山明(欠席)・茂田信三(早退)

《公務出張のため遅参》

- 6/1 本会議 倉持 守



# 審議結果

平成28年常総市議会（5月定例会議）が、5月25日から6月10日までの17日間の会期で開かれまし

た。  
今定例会議には、平成28年度一般会計補正予算を含む議案13件を市長が提案。初日の本会議で提案理由の説明があり、後日（6月3日）、議案等は各常任委員会及び予算特別委員会に付託され、各委員会（分科会）において詳細に審議がなされました。

最終日には、市長から人事案件3件が提出され、採決の結果、議案13件、人事案件3件が原案のとおり可決・推薦されました。また、陳情2件が採択となりました。最後に関東・東北豪雨による水害検証特別委員会の委員長から検証の最終報告があり、承認されました。審議された主な議案は次のとおりです。

## 議案第6号

### 常総市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

本案は、児童クラブの管理及び

運営について指定管理者制度を導入することとし、指定管理者に係る必要な規定を新たに加えるものです。

## 陳情第2号

### 圏央道常総インターチェンジ周辺整備事業 事業推進に関する陳情

この陳情の趣旨は「将来的に本地域に止まらず、市全体ひいては周辺地域の農業活性化に寄与するモデルともなり得る事業に対し、議員の皆様が趣旨の御理解と推進をいただきたい。」というものです。

### 関東・東北豪雨による水害復興特別委員会中間報告書

当委員会は、総務部門・文教厚生部門・建設経済部門の3つの小委員会に分かれ、「常総復興！みんなが住みたいまちづくり」の名のもとに提言・提案を中間報告としてまとめ、2月定例会議の最終日に中間報告を行いました（詳細は市議会のホームページをご覧ください）。更に提言・提案を集約するため、今後も協議・検討を続けてまいります。

### 関東・東北豪雨による水害検証特別委員会報告書

当委員会は平成27年11月に設置され、市や国交省の担当者から聞き取り調査を行うなど、全18回にわたり調査・協議が行われました。意見の集約をして報告書をまとめ、5月定例会議の最終日に提出しました。報告書の要旨は次のとおりです。

#### 【水害対応の検証事実】

- ・三坂地区住民から越水に対応するよう要請があったにもかかわらず、土のう設置などの対応がなされなかった。
- ・江連八間土地改良区が管理する水海道排水機場のポンプは、3台中1台しか稼働しなかった。
- ・堤防が決壊した上三坂への避難指示は、放送担当課への連絡過程で抜け落ちた。
- ・災害対策本部の会議録が存在しなかった。
- ・市長と職員の情報共有が不十分であった。
- ・国交省から「下流部での越水も予想される」との情報提供があったにもかかわらず、災害対策本部は市役所が水没するという認識がなかった。
- ・災害発生当初、市の災害対策本部と国交省、県、自衛隊、警察、消防を含めた合同対策本部との連携が機能していなかった。

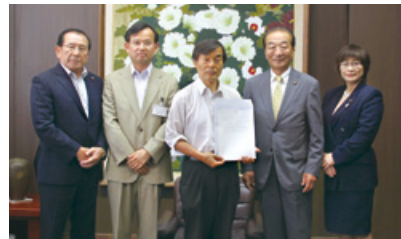
#### 【水害についての提言・要望事項】

- ・大幅な防災計画の見直しとして、災害対策本部の指示事項などをすばやく正確に共有できる体制を整備する。避難指示の漏れを防ぐため、避難指示を出す経過記録を作成する。職員の行動や配置に関する計画を整備する。
- ・市民に向けて災害時の行動等の講習会を実施する。自主防災組織の育成を市が積極的に推進し、災害対応訓練等を実施する。
- ・鬼怒川堤防の強化として、住宅側の法面も補強する工法を採用する。
- ・八間堀川の水害対策強化として、八間堀川の樋管や排水機場の管理については、一括管理できる体制を構築する。
- ・ボランティアの受け入れ能力を高める訓練や計画を整備する。
- ・家を失った方への心のケアをする。



## 報告書提出

関東・東北豪雨による水害検証特別委員会は、報告書をまとめ、6月10日市長に提出しました。



## 永年勤続議員表彰

全国・県の各市議会議長会では、市議会議員として永年勤続され、地方自治の進展に寄与された議員に対し、毎年表彰を行っています。

今年も各議長会の総会において表彰が行われ、5月定例会議最終日の本会議終了後、表彰ならびに記念品の伝達が行われました。



全国・県市議会議長会議員在職15年一般表彰  
**茂田信三 議員**

市議会議長会の規程により、石下町議会議員としての勤続年数は2分の1として算定されます。

## インターネット映像配信中!!

本会議の生中継(LIVE)をインターネットでご覧いただけます。生中継を見られない場合でも、録画映像(VOD)をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

詳しくは映像配信ページをご覧ください。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp/>

スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。



### 【アクセス方法】

市ホームページ  
↓  
市議会  
↓  
議会映像配信



## 議長のひとこと

市民の皆様方には日頃より議会活動に御協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。

私が議長就任来1年が経過し、4回の定例会議が開催され各議員からの一般質問も90回に及びました。活発な議論の中、水害対策も含め常総市発展のため日夜奮闘しております。また、8月からは新市長のもと執行部・議会ともに一丸となり、まちづくりにまい進いたします。

議員の役割を守り、忘れずに…。

常総市議会議長 風野芳之



## 8月定例会議日程(予定)

8月31日(水)	第8回会議(本会議)
9月6日(火)	第9回会議(一般質問)
9月7日(水)	第10回会議(一般質問)
9月8日(木)	第11回会議(一般質問)
9月9日(金)	第12回会議(一般質問)
9月12日(月)	予算・決算特別委員会
9月13日(火)	決算特別委員会
9月14日(水)	決算特別委員会
9月15日(木)	常任委員会(分科会)
9月16日(金)	常任委員会(分科会)
9月20日(火)	常任委員会(分科会)
9月23日(金)	予算・決算特別委員会 第13回会議(本会議)

※正式な日程は8月下旬に開催される議会運営委員会で決定されます。

## 編集後記

『どうすれば一人でも多くの皆様に議会だよりをお読みいただけるか』常に編集委員はそのことを念頭に置き紙面づくりに励んでいます。私は193号の発行から続いて携わり、今回で連続22回目になります。委員長としては6回目の発行で、その委員の皆さんの編集後記も一巡し、今回私で最後です。今回委員の一部に変更がありました。私に努力を重ねて参ります。一般質問は生中継を当日に録画中継を約5日後にパソコンやスマホで見ることが出来ますので、ぜひご覧ください。最後に、大水害から約一年被災されましたすべての皆様。一日も早く安定した生活ができますことを心よりお祈り申し上げます。

中村 博美

## 議会だより編集委員会

- 委員長
- 副委員長
- 委員

中村 博美  
坂巻 文夫  
関野 優嗣  
坂野 茂実  
寺田 洋